氏名	蝦名敦子
所 属 校 名	柴田学園大学短期大学部
所 属 学 科	保育科
職名	特任教授
学 位	修士 (芸術学)
研 究 分 野 の キ ー ワ ー ド	美術教育、造形空間、環境、子供の発達過程

内 容	論文題目及び雑誌、発表演題及び学会名等
	蝦名 敦子,今 和香子,佐々木 美子,笹森 雅子,工藤 里砂子,幼稚園教育要領の改訂に関する5領域からの検討—柴田学園大学短期大学部保育科の事例—,柴田学園研究紀要 Vol.1 Nol 38-55, 2022
論 (査 読 有 り 雑 誌 等) (2017 ~ 2021 年 度)	蝦名 敦子,今 和香子,佐々木 美子,笹森 雅子,工藤 里砂子,幼小連携に関する「遊び」と「教育」の問題―柴田学園大学短期大学部保育科における5領域からの考察を通して 一,柴田学園研究紀要Vol.1 No1 56-76, 2022
	蝦名 敦子,「環境」と「中庭プロジェクト」―柴田学園大学短期大学部における教材化の試み―, 芸術文化 26 23-33, 2021
	蝦名 敦子,子供の身体的発達と造形活動による空間把握の一考察―小学校2年次から中学校3年次までの同一学年の授業を通して,美術教育学 42 83-97, 2021
	蝦名 敦子,ワークショップ型展覧会を通して見た子供の造形活動の特色, 芸術文化 25 45-55, 2020
	蝦名 敦子,馬場拓也,「触って見る動く生き物たち」展の成果と課題―展示空間と材料の考察を中心に―, 芸術文化 24 45-55,2019
	蝦名 敦子,図画工作科における「動き」に関する教材開発―「触覚」と「揺れ」に注目して―, 芸術文化 24 81-90, 2019
	蝦名 敦子,子どもの造形活動と空間に関する実践的考察―造形遊びと、絵や立体題材比較を通して―, 美術教育学 40 51-63, 2019
	蝦名 敦子, 「みんなでつくるイメージの世界〜生き物の形〜」展の成果と課題―展示空間とイメージの問題を通して―,芸術文化 23 67-79, 2018
	蝦名 敦子, 「みんなでつくる形と空間」展の成果と課題―ワークショップ型展覧会の比較考察を通して―,芸術文化 22 87-96, 2017
	蝦名 敦子, ディープラーニングと「深い学び」, 弘前大学教育学部紀要 125 89-98, 2021
論 (査 読 な し 雑 誌 等)	蝦名 敦子,蒔苗靖子,坂本卓也,子供の造形活動による空間把握に関する実践的考察―同一の場所で表現活動をした中学2年生と小学6年生の授業を通して―,弘前大学教育学部研究紀要 クロスロード 23 41-50, 2019
(2017 ~ 2021 年 度)	蝦名 敦子,同一材料を活用した表現3領域の内容考察―大学生の授業実践を通して―,弘前大学教育学部紀要 121 81-89,2019
	蝦名 敦子,子どもの造形活動による空間把握の特性―実践的考察を通して―,弘前大学教育学部研究紀要クロスロード 22 31-40, 2018
	蝦名 敦子,「環境」と「中庭プロジェクト」―柴田学園大学短期大学部の事例―,第27回東北芸術文化学会大会(オンライン形式),2021
	蝦名 敦子,紙を丸めた棒による造形活動―2016~19年のワークショップを通して―,第26回東北芸術文化学会大会(オンライン形式),2020
	蝦名 敦子,「触って見る動く生き物たち」展を振り返って一展示空間の考察を中心に一,東北芸術文化学会第77回仙台研究例会,2019
	蝦名 敦子,図画工作科における「動き」に関する教材開発―「触覚」と「揺れ」に注目して―, 第58回大学美術教育学会岐阜大会,2019
	蝦名 敦子, 「動き」に着目した展覧会構想, 第25回東北芸術文化学会大会, 2019
	蝦名 敦子,子供の造形活動による空間把握に関する実践的考察―同一の場所で表現活動をした中学2年生と小学6年生の授業を通して―, 第41回美術科教育学会北海道大会,2019
学 会 発 表 (2017 ~ 2021 年 度)	蝦名 敦子, 「みんなでつくるイメージの世界〜生き物の形〜」展を振り返って一展覧会の成果と今後の課題を求めて一, 東北芸術文化学会第75回研究例会, 2018
	蝦名 敦子,同一材料を活用した「A表現」の内容考察—大学生の授業実践を通して—,第57回大学美術教育学会奈良大会,2018

	蝦名 敦子,子どもの造形活動と空間認識に関する考察,第24回東北芸術文化学会大会,2018
	蝦名 敦子,子どもの造形活動と空間に関する一考察―造形遊びと絵や立体題材の比較を通して―,第40回美術科教育学会滋賀大会,2018
	蝦名 敦子, 「みんなでつくる形と空間」展を振り返って, 東北芸術文化学会第72回長崎研究例会, 2017
	蝦名 敦子, 子どもの造形活動による空間把握の特性, 第56回大学美術教育学会広島大会, 2017
	蝦名 敦子,子どもの造形活動における空間把握,第23回東北芸術文化学会大会,2017
	蝦名 敦子,地域と連携した造形教育―その大切さを改めて考える―,造形ジャーナル No.441 4-7, 2022
そ の 他 の 活 動(2017 ~ 2021 年 度)	蝦名 敦子,素材に親しむ,森の輪 18-21, 2021
	蝦名 敦子,美術教育への提言,教育美術 941 25, 2020
	蝦名 敦子,ねぷた灯籠製作の授業実践を通して~子どもたちの作品を発表することの経緯や意義について~,教育美術 904 36-39, 2017
	蝦名 敦子,造形教育における幼・小・中の連携,令和3年度図工・美術研修講座 弘前市総合学習センター 2021(研修会講師)
	蝦名 敦子, これからの美術教育を考える, 令和2年度図工・美術研修講座 弘前市総合学習センター 2020 (研修会講師)
	蝦名 敦子,図工題材の作り方,文化庁委託事業「芸術系教科等担当教員等研修会」秋田公立美術大学 2019(研修会講師)
	蝦名 敦子,新学習指導要領の図画工作について語り合う会,弘前大学教育学部附属小学校 2019 (企画・司会)
	蝦名 敦子,子どもの発達段階と表現の領域について,黒石市教育委員会 2019 (研修会講師)
	蝦名 敦子,図工・美術科における表現の領域と指導のポイント〜違いを意識した指導の効果について考える〜,令和元年度図工・美術研修講座 弘前市総合学習センター 2019 (研修会 講師)
著 書 (2016 年 度 以 前)	蝦名 敦子,基礎造形教育におけるデッサンの目的と意義一絵画作品の幾何学的実証を通して一,全246,多賀出版,東京,2004